

平成 29 年度決算に係る

定期監査  
決算審査  
調書

平成 30 年 8 月

総務部 名古屋代表部



## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	決算調書（総括表）	12 頁
8	事業別実施状況調べ	13 頁
9	予備費の充用調べ	14 頁
10	繰越関係調べ	14 頁
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	14 頁
12	収入事務処理状況調べ	14 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	15 頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	15 頁
15	税外収入不納欠損額調べ	15 頁
16	債務負担行為の状況調べ	15 頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	15 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ	18 頁
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	18 頁
19	財産に関する調べ	18 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	19 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）	
21	借受不動産明細調べ	19 頁
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	20 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
23	寄附物件の受納状況調べ	20 頁
24	備品の処分状況調べ	20 頁
25	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	20 頁

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
(2) 物品の照合	
26 貸付金等状況調べ	20 頁
(1) 総括表	
(2) 償還状況	
27 企業誘致の状況	21 頁
(1) 企業誘致の条件、目標等	
(2) 企業訪問	
(3) 企業の要望、課題等	
(4) その他	
28 県内物産の展示、宣伝、紹介の状況	21 頁
29 観光宣伝の状況	21 頁
30 県外本部・代表部庁舎に入居している団体等の調べ	21 頁
○ 意見、要望等	22 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

(3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況  
該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係（担当）名	課の主な所掌事務
名古屋代表部		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県行政に必要な情報の収集及び資料の調査に関する こと。</li> <li>・ 東海地方の商況（農産物市場の状況等を除く。）等 の調査及び情報連絡に関すること。</li> <li>・ 県内物産に関する宣伝及び紹介に関すること。</li> <li>・ 観光の宣伝に関すること。</li> <li>・ 東海地方の企業の誘致に関すること。</li> <li>・ 県内産業の振興に係る情報収集及び連絡調整に関 すること。</li> <li>・ 県内への定住促進等に関すること。</li> </ul>

4 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	30.4.1 現在	29.4.1 現在	30.4.1 現在	29.4.1 現在	30.4.1 現在	29.4.1 現在	30.4.1 現在	29.4.1 現在	
定員	2	2	0	0	0	0	2	2	
現員	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
過不足(△)	2	2	0	0	0	0	2	2	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	2	0	0	0	0	2	2	事務員1名 企業誘致担当1名

5 役付職員の調べ

(平成30年8月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
部長	吹野 之彦	1年	1月	
次長	松尾 昌和	2年	4月	出納員

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
「こんなに近い鳥取県！」PR事業	12,941			12,941
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
鳥取県への観光誘客にとって大きなマーケットである東海地方（圏域人口 11,300 千人）において、鳥取県の認知度向上及び誘客促進のため、自動車及び鉄道利用者に対してアクセスの良さ、県内観光地の魅力等のPRを行う。				
(イ) 事業の実施状況				
①自動車利用者対象				
項目	内容			
旅行情報誌を活用した情報発信	東海地方で発行される「レジャー、旅、ドライブ」情報誌に鳥取県への交通アクセス、観光情報等を掲載した。 ○「夏ぴあ（東海版）」に鳥取県特集（8ページ）を掲載（H29.5 発行、9万部） ○抜き刷り版の制作（H29.5 発行、1万4千部）、高速道路サービスエリア、道の駅、チケットステーションでの配布（うち9千部）			
高速道路サービスエリアでの情報発信	東海地方の高速道路サービスエリアで配布される広告媒体（NEXCO 中日本発行）に鳥取県へのアクセス、観光情報等を掲載し、配布した（7～10月）。 ○サービスエリアガイド（H29.7 発行、60万部）			
②鉄道利用者対象				
項目	内容			
JR 名古屋駅での情報発信  ※JR 名古屋駅は東海道新幹線、JR 各線（東海道、中央、関西）、名鉄、近鉄、地下鉄、あおなみ線が乗り入れる巨大ターミナル（一日平均 110 万人以上利用）	東海地方で最も利用者が多い JR 名古屋駅で鳥取県の冬の味覚の王者「松葉がに」のPR（ウェルカニキャンペーン）を実施した。 ○鳥取県観光PRイベント 〔期日〕11月11日（土）～12日（日） 〔場所〕JR 名古屋駅中央コンコース 〔内容〕特設ステージPR（とっとり観光親善大使、鬼太郎やコナンによる観光PR、じゃんけん大会） 蟹の甲羅投げゲーム、がらがらくじ大会 観光ポスター掲出、チラシ、パンフレット配布（2,500部） ○鳥取県PR映像放映 〔日時〕11月6日（月）～12日（日）の1週間 〔場所〕JR 名古屋駅構内 〔内容〕桜通口デジタルフラッグ（16面）を使い、イベント告知と大山開山 1300 年をPR			
イ 平成 29 年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行情報誌の抜き刷り版を新たに道の駅（5店舗）、チケットステーション（8店舗）で配布し、広く自動車利用者等への遡及を図った。</li> <li>・JR名古屋駅のイベントで、新たにSNSを活用した告知・集客を行った。併せて、ジェイアール名古屋タカシマヤの鳥取フェアと連携し、両会場への誘導を図った。</li> </ul>				

ウ 成果及び効果

- ・大規模な集客が見込める施設やメディアを活用した PR により、鳥取県のアクセスの良さや観光の魅力を広く発信することができた。
- ・鳥取県へのアクセスの良さを PR し続けることにより、鳥取県に観光に向かうお客様の問合せがより具体的になった（所要時間やルート、2 次交通の有無等）。
- ・鳥取県の宿泊旅行者に占める東海地方発地割合が 5 年前に比べて増加した。  
（旅行雑誌調査）

年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
発地割合 (%)	6.8	7.6	11.6	10.7	10.6	8.4	8.4

- ・東海地方からの安定した観光入込客数につながった。（県観光客入込動態調査）

年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
入込客数 (千人)	234	325	321	413	313	323	281
対前年増減率 (%)	-	138.9	98.8	128.7	75.8	103.2	87.0

- ・JR 名古屋駅のイベントでは、タカシマヤで同時開催した松葉がに即売会が即日完売となり、特産品の定期的な取引にもつながった。

エ 課題

- ・鳥取県に対する認知度は高まっているが、引き続き効果的な PR を継続して実施する必要がある。
- ・単なる PR ではなく、実際に誘客につなげる取組（誘客キャンペーン等）も検討する必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
鳥取県の魅力発信事業	6,147			6,147
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
鳥取県への観光誘客にとって大きなターゲットとなる東海地方（圏域人口 11,300 千人）において、鳥取県の認知度向上及び誘客促進のため、テレビ、新聞などメディアの活用やイベント参加等により、鳥取県の観光や特産品等の情報発信を行う。				
(イ) 事業の実施状況				
①メディアを活用した情報発信				
○テレビ番組による情報発信（委託料 270 万円）				
・中京テレビ「ぐっと」（12月22日（金）10時25分～11時のうち、VTRを含めて約10分）で、「年末大感謝祭～高級松葉がにに牛肉！超豪華食材が当たる！～」をテーマに鳥取県の魅力を紹介した。				
・1月11日に中京テレビ「クレップ」でウェルカニキャンペーンのCM（30秒）を放映した。				
○新聞を活用した情報発信（委託料 200 万円）				
・名古屋市全域で発行する中日新聞「市民版」（50万部）で、4回にわたり鳥取県の旬の話題を紹介した。				
「初夏の鳥取は楽しみ満載（5/13）」【観光情報提供事業】				
「開山 1300 年を前に注目高まる夏の鳥取・大山（8/3）」【観光情報提供事業】				
「感動連続の短期滞在も話題！『とっとり暮らし』はいかが（10/14）」				
【移住定住情報発信強化事業】				
「鳥取の春を追う旅（3/1）」【観光情報提供事業】				
・記事掲載に合わせてプレゼント企画を実施した。				
○報道機関へのニュースリリース				
随時				
②イベント実施による情報発信				
項目	内容	来場者数等	時期・場所等	
事務所での情報発信	名古屋代表部入口にパンフレットコーナーを設置し、情報を発信した。	—	H29年4月～ 名古屋代表部	
東山動植物園でのPR	全国有数の規模を誇る東山動植物園で「春まつり・秋まつり」に参加し、主にファミリー層を対象に鳥取県観光PRを実施した。	約3万人 （1日）	H29年5月3日（水・祝）～4日（木・祝） H29年11月3日 （土）	
刈谷ハイウェイオアシスでのPR	入場者数全国3位の遊園地として紹介され、行楽客など多くの利用者で賑わう刈谷ハイウェイオアシスで鳥取県観光PRを実施した。	約5～6万人 （土日）	H29年6月10日 （土）～11日（日） H30年3月24日 （土）～25日（日）	
夏山フェスタでのPR	名古屋で唯一の山岳関連イベント「第5回夏山フェスタ」に参加し、大山、三徳山、氷ノ山の紹介など鳥取県観光PRを実施した。	約7千6百人 （2日計）	H29年6月17日 （土）～18日（日） 愛知県産業労働センター	
ふるさと全国県人会まつりへの参加	「ふるさと全国県人会まつり 2017」に東海鳥取県人会と共同参加し、二十世紀梨など特産品販売やしゃんしゃん傘踊り披露などPRを行った。	約17万人 （2日計）	H29年9月9日（土） ～10日（日） 久屋大通公園	

鳥取県観光情報説明会の開催	県観光連盟に協力し、東海地方の旅行会社を対象に県内の観光施設・旅館等が参加する説明会を開催した。	旅行会社 38人、県内観光関係 30人	H29年9月6日(水) 中日プラザ
① リレーマラソンでのPR	大型スポーツイベント「ナゴヤドーム6時間リレーマラソン2017」に参加し、鳥取県観光PRを実施した。	約3万人	H29年9月16日(土) ナゴヤドーム
すこやかフェスタでのPR	子育て支援イベント「子育て応援団チュウキョ〜くんのすこやかフェスタ2017」に参加し、鳥取県への移住定住及び観光PRを実施した。	約2万9千人 (2日計)	H29年10月21日(土)~22日(日) 日本ガイシホール
② ハッピーママフェスタでのPR	子育て支援イベント「ハッピーママフェスタ2018」に参加し、鳥取県への移住定住及び観光PRを実施した	約9万3千人 (3日計)	H30年2月23日(金)~25日(日) ナゴヤドーム
旅まつり名古屋でのPR	「旅まつり名古屋2018」に県観光連盟、鳥取中部観光推進機構、大山山麓観光推進協議会と共同出展し、鳥取県の旅の魅力をPRした。	約30万人 (2日計)	H30年3月17日(土)~18日(日) 久屋大通公園
その他イベントでのPR	各種イベントに参加し、観光コーナー設置等により鳥取県PRを実施した。	115人	東海鳥取県人会 H29年5月27日(土)
		114人	名古屋国際ホテル とっとりビジネスフォーラム in 名古屋 H30年2月8日(木) キャッスルプラザ

### ③ アクセスチラシの制作

名古屋から鳥取までの交通アクセス、観光の魅力を紹介するチラシを制作した。  
5月(改訂版)7,000部 10月(改訂版)5,000部

### ④ 集客施設でのPR

集客の多い施設やイベントで鳥取県の観光PRを実施した。  
モレラ岐阜(7/23)、金山総合駅(12/2)、名鉄の泊りハイキング春フェスタ(3/1)

### イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・大山開山1300年や肉質日本一に輝いた鳥取和牛など旬のテーマにスポットを当て、プレゼント企画等と連動して集中的にPRを実施した。

### ウ 成果及び効果

- ・大規模な集客が見込める施設やメディアを活用したPRにより、鳥取県のアクセスの良さや観光の魅力を広く発信することができた。
- ・鳥取県へのアクセスの良さをPRし続けることにより、鳥取県に観光に向かうお客様の問合せがより具体的になった(所要時間やルート、2次交通の有無等)。
- ・鳥取県の宿泊旅行者に占める東海地方発地割合が5年前に比べて増加した。  
(旅行雑誌調査)

年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
発地割合(%)	6.8	7.6	11.6	10.7	10.6	8.4	8.4

- ・東海地方からの安定した観光入込客数につながった。(県観光客入込動態調査)

年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
入込客数(千人)	234	325	321	413	313	323	281
対前年増減率(%)	-	138.9	98.8	128.7	75.8	103.2	87.0

エ 課 題

- ・鳥取県に対する認知度は高まっているが、引き続き効果的な PR を継続して実施する必要がある。
- ・単なる PR ではなく、実際に誘客につなげる取組（誘客キャンペーン等）も検討する必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
中京圏における鳥取県ネットワーク構築事業	429			429

鳥取元気プロジェクト

元気づくり総合戦略

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

東海地方において、鳥取県の情報発信や企業誘致をより一層促進するため、鳥取県とゆかりの深い方々（経済人、県人会等）との連携を強化し、ネットワーク構築に努める。

(イ) 事業の実施状況

① 鳥取県ゆかりの経済人との情報交換会

〔日時・場所〕平成29年9月28日(木)、名古屋国際ホテル

〔参加人数〕16人

〔主な参加者〕

(敬称略)

職名	氏名
中京テレビ放送(株) 相談役	山本 孝義
(株)パソナ 執行役員東海営業本部長	田村 富美子
アスモ(株) 取締役社長	桑村 信吾
(株)東海理機製作所 顧問	佐々木 徹
(株)デンソー エレ機器製造部担当次長	近藤 英生
今井航空機器工業(株) 代表取締役社長	今井 哲夫
(株)イナテック 常務取締役	本多 勇一
マルサンアイ鳥取(株) 代表取締役社長	兼子 明
(株)名古屋銀行 小牧支店長	松原 卓二
愛知県立美術館 館長	南 雄介
東海鳥取県人会 会長	可世木 博
名古屋市 緑土木事務所長	沖 美宏
大山ハム(株) 名古屋営業所長	原 義治

○主な意見

- ・鳥取県中部地震から1年が経ち、多くの方々から支援をいただいて復興できたことは大変よかった。これからもより一層発展に向けて頑張ってもらいたい。
- ・来年の大山開山1300年に向けて、東海地方からも多くのお客様が鳥取県を訪問されるよう協力したい。

② 県人会との交流

- 東海鳥取県人会総会(H29.5.27)、浜松鳥取県人会総会(H30.3.4)、その他高校同窓会に出席し、県の情報提供やふるさと納税の呼びかけ、県に関する意見交換を行った。

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

特になし。

ウ 成果及び効果

- ・県の施策に対する貴重な提案・提言をいただくとともに、東海地方の鳥取県ネットワークの拡大につながった。(経済人との情報交換会新規参加者5人)

エ 課題

- ・東海地方におられる鳥取県出身者及びゆかりの方は人数的には多くはないが、これまで

- 築き上げたネットワークを基盤として、さらなる人脈の拡大に努める必要がある。
- ・現在、東海地方の大学へ通う県出身大学生にアプローチできていないため、Uターン就職等の観点からもアプローチが求められる。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
ふるさと鳥取県産業・観光センター設置 運営事業	8,122		475	7,647

鳥取元気プロジェクト

元気づくり総合戦略

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

県産品の販路開拓のため、各種物産展への参加、店舗等で試食販売を行う。

(イ) 事業の実施状況

①全国センター合同物産観光展「ふるさとフェア」への参加

中日ビルで開催された物産展ふるさとフェア（全国物産観光センター連絡協議会（鳥取県を含む18県1市で構成。）主催）に参加し、県産品の試食販売を実施した。

〔期間〕春：平成29年4月24日（月）～28日（金）

冬：平成29年11月27日（月）～12月1日（金）

（来場者は春、冬とも約3万人）

②らっきょう漬け方講習会の開催

鳥取県の特産品である砂丘らっきょうの消費拡大のため、地元生産者を講師に招き、らっきょうの漬け方講習会を実施した。

〔日時〕平成29年6月2日（金）

〔場所〕名古屋市東生涯学習センター

〔参加人数〕50人（2部制）※参加費1千円。

③百貨店、スーパーでの県産品試食販売

東海地方における県産品の消費拡大のため、市場開拓局、関西本部の協力を得て、集客の多い百貨店、スーパーで旬の県産品の試食販売を実施した。

〔期間〕平成29年6月17日（土）

〔場所〕ヤマナカ（フランテ）2店舗（八事、覚王山）

〔内容〕鳥取すいか、クロマグロの試食販売

〔期間〕平成29年8月30日（水）～9月5日（火）

〔場所〕ジェイアール名古屋タカシマヤ

〔内容〕鳥取県産二十世紀梨の試食販売

〔期間〕平成29年9月2日（土）～3日（日）

〔場所〕ヤマナカ（フランテ）8店舗（八事、覚王山、四軒家など）

〔内容〕鳥取県産二十世紀梨の試食販売、湖山池のしじみなどの販売

〔期間〕平成29年11月11日（土）～12日（日）

〔場所〕ジェイアール名古屋タカシマヤ

〔内容〕鳥取県産松葉がにの試食販売

〔期間〕平成29年12月2日（土）～3日（日）

〔場所〕ヤマナカ（フランテ）8店舗（八事、覚王山、四軒家など）

〔内容〕鳥取県産白ねぎと大山ブロッコリーの試食販売、松葉がに、しじみなどの販売

④JR名古屋駅レストランでの鳥取県フェア開催【新規】

ジェイアール東海フードサービスの協力により、JR名古屋駅のレストランで1カ月にわたり鳥取県食材を用いたフェアを開催した。

〔期間〕平成29年10月1日～10月31日

〔場所〕そば・酒処 みやび（JR名古屋駅構内）

〔内容〕ねばりっこそばとかに丼、利き酒セット 等

イ 平成 29 年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・らっきょうの漬け方講習会は毎年参加希望者が多いため、平成 29 年度から 2 部制の開催とした。
- ・ジェイアール名古屋タカシマヤの松葉がに即売会は、JR 名古屋駅の観光 PR イベントと同時開催し、相乗効果により相互に行き来するお客様が数多く見られた。
- ・ジェイアール東海フードサービスの協力を得て、集客力の高い JR 名古屋駅構内のレストランで初めて鳥取県食材を用いたフェアを開催した。

ウ 成果及び効果

- ・旬の特産品を消費者に直接お届けすることで、県産品の知名度向上、品質の評価につながった。
- ・JR 名古屋駅レストランの鳥取県フェアは今回初の試みであったが、売れ行きが好調で、次年度は店舗を 4 店舗に拡大して実施することとなった。
- ・名古屋を中心にスーパーを展開するヤマナカとの間で、鳥取フェアの定期開催につながった。

エ 課 題

- ・東海地方における県産品のより一層の知名度向上、販路拡大のため、今後も旬の特産品を直接消費者に届ける取組を継続する。
- ・鳥取県産品の良さを知っていただくため、工場の社員食堂等での鳥取フェアの開催を働きかけることが重要である。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
企業立地推進事業	—			
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
東海地方からの企業誘致及び企業間取引を促進する。				
(イ) 事業の実施状況				
① 企業誘致活動の実施				
進出の可能性がある企業を抽出して訪問し、県の立地環境プレゼンテーションを実施。(「27 企業誘致の状況」に記載)				
② とっとりビジネスフォーラム in 名古屋				
東海地方の企業に対し、鳥取県の施策や立地環境等の PR を目的としたフォーラムを開催した。				
〔期日〕平成 30 年 2 月 8 日 (木)				
〔場所〕キャッスルプラザ				
〔参加者数〕114 人 (東海地方企業等 99 人、県内参加者 15 人)				
〔プログラム〕				
基調講演	「人工流れ星がつくる未来」 株式会社 ALE 代表取締役 岡島礼奈 氏			
交流会	参加企業等との交流会			
③ 公立鳥取環境大学東海地区企業懇談会				
入学者が増加している東海地方で開催する企業懇談会に参加協力した。				
〔日時〕平成 29 年 12 月 7 日 (木)				
〔場所〕愛知県産業労働センター				
〔参加者数〕東海地方企業 17 社 21 人				
〔プログラム〕				
プレゼン	大学、学部の紹介、学生研究発表			
基調講演	「18 卒の総括と 19 卒の就職環境について」 株式会社ディスコ名古屋支社長 渡辺 剛 氏			
イ 平成 29 年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
・ ビジネスフォーラムでは、鳥取県出身でグローバルな活動を行っている起業家による講演を行い、鳥取県の知名度向上に努めた。				
・ 山陰ディステーションキャンペーンを控え、大手の旅行会社にも案内を行い、ご参加いただいた。				
ウ 成果及び効果				
・ 5 回目となるフォーラムは毎回 100 人超の参加者があり、年 1 回の鳥取県 PR の場として定着した感がある。				
エ 課題				
・ 企業の経営戦略や課題を素早く察知し、鳥取県への誘致につなげるため、切れ目ない情報収集と企業訪問によるアプローチが必要である。				
・ 経済団体等も通じながら、一層の人脈形成を図っていく必要がある。				

7 決算調書

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予算現額				調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計					
歳入	雑入	300,000			300,000	183,792	183,792	0	0	
	合計	300,000			300,000	183,792	183,792	0	0	

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予算現額					決算額 B	決算額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正 予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A		本庁	出納 機関			
歳出	県外事務所費	28,942,000				28,942,000	27,637,353	27,637,353		0	1,304,647	
	一般管理費				121,460	121,460	121,460	121,460			0	
	合計	28,940,000			121,460	29,063,460	27,758,813	27,758,813		0	1,304.647	

## 8 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	当初予算額	補正 予算額	支出済額	翌年度 繰越額	差引残額	事業の計画と実績 ・成果・不用額
(県外事務所費)						
(主) 「こんなに近い鳥 取県！」PR事業	13,063,000		12,940,484		122,516	主な事業に関する 調べのとおり
(主) 鳥取県の魅力発信 事業	6,200,000		6,146,097		53,903	主な事業に関する 調べのとおり
(主) 中京圏における鳥 取県ネットワーク 構築事業	609,000		428,990		180,010	主な事業に関する 調べのとおり
(主) ふるさと鳥取県産 業・観光センター 設置運営費	9,070,000		8,121,782		948,218	主な事業に関する 調べのとおり
配当替分 (観光費)						
(主) 観光情報提供事業	(1,500,000)		(1,500,000)		(0)	主な事業に関する 調べ(鳥取県の魅力発 信事業)のとおり
配当替分 (自治振興費)						
(主) 移住定住情報発信 強化事業	(500,000)		(500,000)		(0)	主な事業に関する 調べ(鳥取県の魅力発 信事業)のとおり
配当替分 (工鉱業総務費)						
(主) 企業立地推進事業	(2,520,000)		(2,520,000)		(0)	主な事業に関する 調べのとおり
目計	28,942,000		27,637,353		1,304,647	
合計	28,942,000		27,637,353		1,304,647	

- 9 予備費の充用調べ 該当なし
- 10 繰越関係調べ 該当なし
- 11 収入証紙取扱額調べ 該当なし
- 12 収入事務処理状況調べ
- (1) 分担金及び負担金 該当なし
- (2) 使用料 該当なし
- (3) 手数料 該当なし
- (4) 財産収入 該当なし
- (5) 寄付金 該当なし
- (6) 諸収入

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
雑入	雑入	名古屋代表部事務室使用 光熱水費及び複写料金	8	176,545	176,545	0	0	転貸借契約書 複写機利用の 覚書	借受団体 (公財)鳥取県産業振興機構 (公社)鳥取県観光連盟
		預金利息	1	1	1			交際費の資金前渡 経理事務処理要綱	
		非常勤職員雇用保険料	12	7,246	7,246	0	0		収入更正
		計(節)	21	183,792	183,792	0	0		
本庁執行分計(目)			21	183,792	183,792	0	0		
出納機関執行分計(目)									
目計				183,792	183,792	0	0		
合計				183,792	183,792	0	0		

- (7) 現金の取扱状況 該当なし

1 3	税外収入未済額調べ	該当なし
1 4	未収金回収促進のための取組状況調べ	該当なし
1 5	税外収入不納欠損額調べ	該当なし
1 6	債務負担行為の状況調べ	該当なし
1 7	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	
( 1 )	負担金	該当なし
( 2 )	補助金	該当なし
( 2 - 2 )	補助金 (他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	該当なし
( 3 )	交付金	該当なし

## (4) 委託料

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納付 等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)			履行検査 年月日					
					(契約年月日) 契約額	契約 期間		契約形態				
県外事務所費	単県	情報誌における 鳥取県PR業務 委託	ぴあ株式会 社	3,510,000	(H29.4.25) 3,510,000	H28.4.25 ～ H28.8.31	H29.4.14 (免除)	H29.8.31	精	H29.9.26	3,510,000	本県業務委託実 績があり、効 率・経費面で最 適であるため
							随	H29.8.31				
県外事務所費	単県	東海地方高速道路サ ービスエリア広報媒 体への鳥取県PR広 告掲載及び配布業務	中日本エク シス株式会 社	2,592,000	(H29.5.9) 2,592,000	H29.7.1 ～ H29.9.30	H29.4.28 (免除)	H29.9.30	前	H29.7.28	2,592,000	NEXCO 中日本館 内の SA・PA の 管理運営会社で あるため
							随	H29.9.30				
県外事務所費	単県	テレビ番組での 鳥取県の魅力紹 介業務委託	中京テレビ 放送株式会 社	2,700,000	(H29.11.22) 2,700,000	H29.11.22 ～ H30.1.31	H29.11.20 (免除)	H30.1.12	精	H30.1.30	2,700,000	テレビ放送の委 託であるため
							随	H30.1.12				
県外事務所費	単県	名古屋駅におけ る鳥取県PRイ ベント業務委託	株式会社ジ ェイアール 東海エー ジェンシー	5,130,000	(H29.10.18) 5,130,000	H29.10.18 ～ H29.12.15	H29.10.5 (免除)	H29.11.19	精	H29.12.19	5,130,000	プロポーザルに より決定
							随	H29.11.29				
県外事務所費	単県	とっとりビジネ スフォーラム in 名古屋運營業務 委託	株式会社ジ ェイアール 東海エー ジェンシー	3,300,000	(H30.1.24) 3,270,027	H30.1.24 ～ H30.3.7	H30.1.17 (免除)	H30.2.28	精	H30.4.6	664,525	県の行為を秘密 にする必要があ るため (2,520,000 は工 鉱業総務費)
							随	H30.2.28				
予定価格が250 万円未満のもの											4,439,094	鳥取県 PR チラ シ等
県外事務所費 目 計											19,035,619	
合 計											19,035,619	

## (4-2) 委託料 (他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当 初 契 約			入札等年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	完 了 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額	
				変 更 契 約 (最終)			履行検査 年 月 日					
					(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間		契約形態				
観光費	単県	中日新聞「市民版」鳥取県紹介記事掲載業務委託	株式会社 中日アドレ ップ	500,000	(H29.4.13) 500,000	H29.4.13~ H29.5.10	H29.4.10 (免除)	H29.5.10	精	H29.6.2	500,000	
						随	H29.5.18					
観光費	単県	中日新聞「市民版」鳥取県紹介記事掲載業務委託	株式会社 中日アドレ ップ	500,000	(H29.7.20) 500,000	H29.7.20~ H29.8.10	H29.7.7 (免除)	H29.8.10	精	H29.8.28	500,000	
						随	H29.8.10					
観光費	単県	中日新聞「市民版」鳥取県紹介記事掲載業務委託	株式会社 中日アドレ ップ	500,000	(H30.2.2) 500,000	H30.2.2~ H30.3.23	H30.1.30 (免除)	H30.3.7	精	H30.4.6	500,000	
						随	H30.3.7					
観光費 目 計											1,500,000	
自治振興費	単県	中日新聞「市民版」鳥取県紹介記事掲載業務委託	株式会社 中日アドレ ップ	500,000	(H29.9.20) 500,000	H29.9.20~ H29.10.23	H29.9.12 (免除)	H29.10.23	精	H29.11.2 1	500,000	
						随	H29.10.23					
自治振興費 目 計											500,000	
工鉱業総務費	単県	とっとりビジネスフォーラム in 名古屋屋運営業務委託	株式会社ジ ェイアール 東海エー ジェンシー	3,300,000	(H30.1.24) 3,270,027	H30.1.24~ H30.3.7	H30.1.17 (免除)	H30.2.28	精	H30.4.6	2,520,000	県の行為を 秘密にする 必要がある ため (664,525 は県外事務 所費)
						随	H30.2.28					
工鉱業総務費 目 計											2,520,000	
合 計											4,520,000	

18 工事請負費調べ 該当なし

18-2 工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの） 該当なし

19 財産に関する調べ

(1) 公有財産 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成30年3月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		受入額	払出額		
郵便切手及び郵便はがき	9,748円	116,280円	111,100円	14,928円	
収入印紙					
収入証紙					
タクシークーポン券					
鉄道バスプリペイドカード					
合計	9,748円	116,280円	111,100円	14,928円	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成30年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
141枚	200枚	238枚 348,370円	103枚

(3) 基金 該当なし

(4) 債権

(平成30年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備考
	金額	件数	増		減		金額	件数	
			金額	件数	金額	件数			
名古屋代表部事務所借上げに係る敷金	832,602円	1	円		円		832,602円	1	
名古屋代表部倉庫借上げに係る敷金	28,410円	1					28,410円	1	
合計	861,012円	2					861,012円	2	

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付 (使用許可) 目的	所在地	数量 又は 面積	貸付 (使用許可) 年月日	当初貸付 (使用許可) 年月日	貸付 (使用許可) 期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所 氏名	備考
							単価	本年度の 貸付(使用)料		
借受不動産	事務所	名古屋市中区栄 4-1-1	3.3 m <sup>2</sup>	H29.4.1	H29.4.1	H29.4.1 ~H30.3.31	年額	145,188	鳥取県鳥取市若葉台 7-5-1 (公財)鳥取県産業振興機構	ID 16-00165155
	事務所	名古屋市中区栄 4-1-1	3.3 m <sup>2</sup>	H29.4.1	H29.4.1	H29.4.1 ~H30.3.31	年額	145,188	鳥取県鳥取市栄町 606 (公社)鳥取県観光連盟	ID 16-00175117
計								290,376		
合計								290,376		

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの) 該当なし

21 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受 (使用) 目的	所在地	数量又 は面積	契約の状況				借受先 住所 氏名	備考
					契約書 の有無	借受期間	借料(円)			
							単価	本年度の借料		
建物	鉄筋12階建 地上4階	名古屋代表部 事務室	名古屋市中区栄 4-1-1	83.955 m <sup>2</sup>	有	H29.4.1 ~ H30.3.31	月額 307,829	3,693,948	名古屋市中区栄 4-1-1 中日本ビルディング株式会社 代表取締役社長 金森昭夫	
建物	鉄筋12階建 地下4階	名古屋代表部 倉庫	名古屋市中区栄 4-1-1	7.810 m <sup>2</sup>	有	H29.4.1 ~ H30.3.31	月額 14,044	168,528	名古屋市中区栄 4-1-1 中日本ビルディング株式会社 代表取締役社長 金森昭夫	
合計				91.765 m <sup>2</sup>				3,862,476		

- 2 2 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし
- 2 3 寄附物件の受納状況調べ 該当なし
- 2 4 備品の処分状況調べ 該当なし
- 2 5 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
- (1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし
- (2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
平成 29 年 7 月 20 日	・有 (・無)		

- 2 6 貸付金等状況調べ 該当なし

## 2.7 企業誘致の状況

### (1) 企業誘致の条件、目標等

- ① 目標
- ・企業誘致（見込を含む。） 1社以上
  - ・経営戦略として進出計画を持つ企業の発掘 3社以上
- ② 目標達成に向けた方策
- ・次世代を見据えた大胆な誘致活動の実施
  - ・企業情報の分析をベースにした計画的な誘致活動の実施
  - ・多様な進出形態に対応するための万全の準備
  - ・誘致活動の確実なレビューと継続的なアプローチ

### (2) 企業訪問

- ① 訪問企業数 157社

#### ② 内訳

区分	既誘致企業 (1社)	平成29年度新規開拓企業 (87社)	その他 (70社)
業種 (主なもの)	・フィギュア製造	・工作機械製造 ・部品製造（自動車、航空機等） ・電気機器製造	・機械製造 ・医薬品製造 ・食品加工

### (3) 企業の要望、課題等

- ・企業の経営戦略や業界動向をいち早く察知し、鳥取県への企業誘致につなげる切れ目ない情報収集と企業訪問によるアプローチが必要である。
- ・経済団体等とのつながりを通して、より一層の人脈形成を図っていくことが必要である。

### (4) その他

## 2.8 県内物産の展示、宣伝、紹介の状況

「6 主な事業に関する調べ」に記載

## 2.9 観光宣伝の状況

「6 主な事業に関する調べ」に記載

## 3.0 県外本部・代表部庁舎に入居している団体等の調べ

(平成30年7月1日現在)

団体名	職員数 人	当初入居 の年月日	面積 ㎡	職員1人 当たりの 面積 ㎡	使用料 貸付料 (月又は年額) 円	減免率 %	共益費等の 負担方法	備考
公益社団法人鳥取県 観光連盟	1	H19.4.1	3.3	3.3	年額 145,188	—	面積割	
公益社団法人鳥取県 産業振興機構	1	H18.4.1	3.3	3.3	年額 145,188	—	面積割	

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等 特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等 特になし